

# KIT\*MIKI

ON PAPER



(Instagram)



(WEBサイト)

三木町公式アカウント (Instagram) [https://www.instagram.com/kit\\_miki\\_kagawa/](https://www.instagram.com/kit_miki_kagawa/)  
香川県三木町魅力発信サイト (WEBサイト) <https://www.town.miki.lg.jp/kit-miki/>

三木町ふるさと会報紙 年2回発行

2026  
SPRING

# 三木町中小企業振興ビジョン

～地域のつながりが、未来をつくる～

## 三木町中小企業振興ビジョン

### 三木町中小企業振興ビジョンとは？

三木町は、豊かな田園風景や日本最大級の大獅子による獅子舞等の地域文化に恵まれ、県都高松市に隣接する利便性の高いまちとして発展してきました。

また、多様な分野で競争力を持つ企業や、大学との連携による研究・技術開発など、地域経済を支える力が育まれてきました。

一方で近年は、人手不足や事業承継、物価高騰など、中小企業を取り巻く環境が大きく変化しています。

こうした状況を踏まえ、中小企業者が力を発揮することで地域経済に活力を生み、三木町民やそこで働く人々が中小企業と共に生きがいと働きがいを見出すことができる豊かで住みよいまちの実現のため、三木町産業振興会議では「三木町中小企業振興ビジョン」としてその方針を策定しました。

ここでは、「三木町中小企業振興ビジョン」の概要をご紹介します！



冊子で発行しています！

中小企業がつくる地域の輪  
つながりが価値を生み出し、  
ともに成長する町

～中小企業振興ビジョンとその方針～  
【2025】

### ビジョンの基本的な考え方

三木町中小企業振興ビジョンでは、[ 中小企業がつくる地域の輪 つながりが価値を生み出し、ともに成長する町 ] という将来に向けたビジョンを掲げています。

### ビジョンで大切にしている視点

- ・事業者の自主的な取り組みや工夫を大切にします。
- ・三木町らしさを活かした施策を進めます。
- ・事業者・町民・関係機関・行政が連携して取り組みます。

### 中小企業振興がめざすもの

地域の雇用や暮らしを支えている中小企業が元気になることで、地域の中でお金や人の流れが生まれ、暮らしやすさが高まり、次の世代へと、まちの魅力が引き継がれていきます。

## 【ビジョン実現に向けた4つの柱】

### ① 若者が帰ってくるまち

企業も関わる人も「自分事」として環境の整備や教育を実施することで、三木町へ帰ってきたくなる土壌をつくります。

### ② リアルな情報が行き交うまち

関係機関による様々な情報を一元的に取りまとめ、発信する体制をつくり、発信手法を工夫し、キャッチしやすい情報発信のしくみを整えます。

### ③ 出会いとつながりが価値をうみ出すまち

企業・団体・支援機関・住民が連携して、地域課題の解決に努め、また地域資源を活用することで、みんなで活力あるまちをつくります。

### ④ みんながともに学び成長するまち

関係機関が協力し、企業がともに学び成長できる「学びの場」をつくり、町全体で、さらには広域で人材を育成するしくみを整えます。



## 次の世代へつなぐために

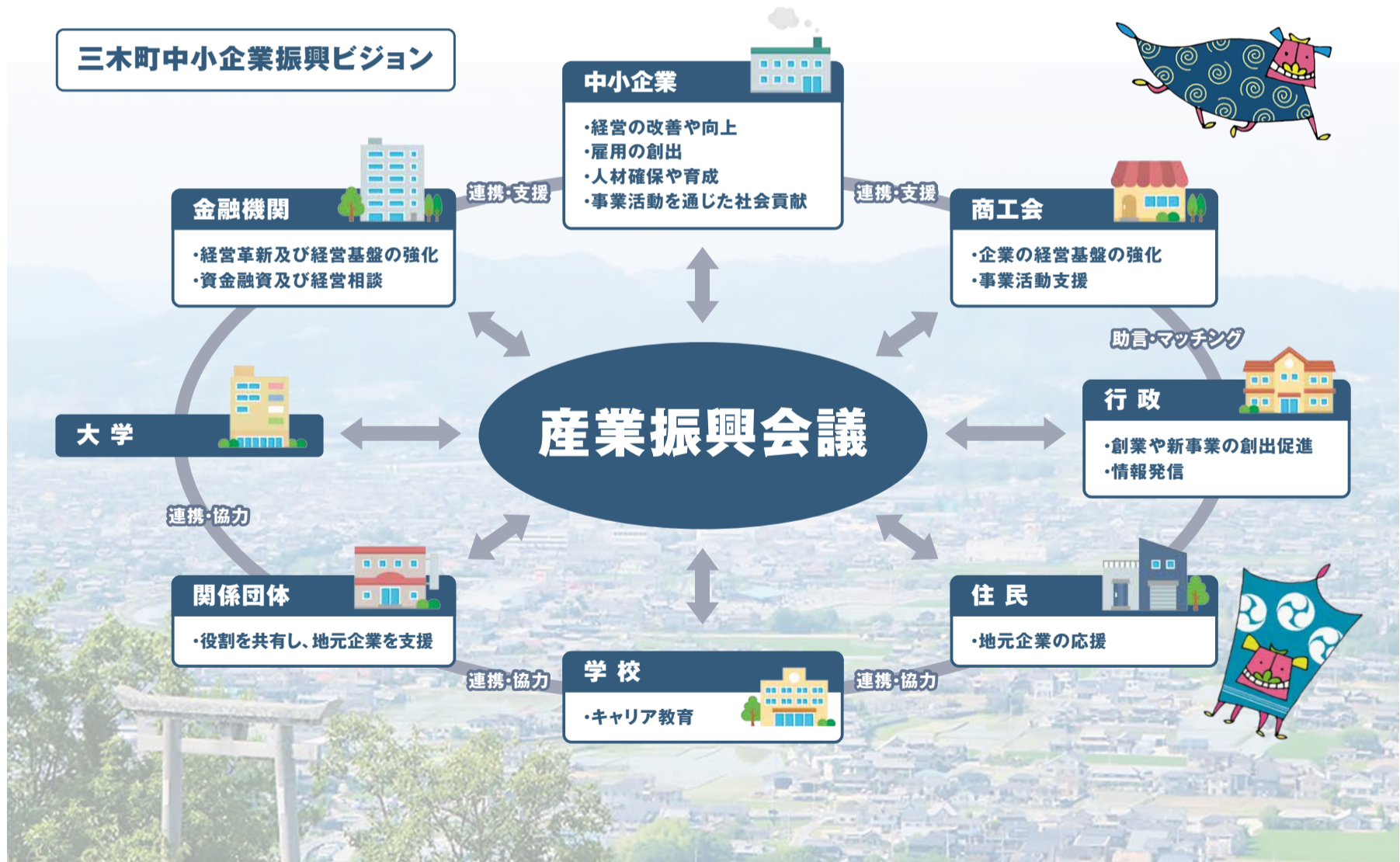
このビジョンは、事業者だけでなく、住民の皆さんや関係機関とともに進めていくものです。例えば、地元のお店や商品を積極的に選ぶことや、地域の活動に関わることも、まちの未来につながる大切な一歩です。

三木町の魅力や資源を活かしながら、新たな価値を生み出し、次の世代へとつないでいく。その積み重ねが、これからの三木町の力になります。

町に関わるひとすべてが地域を支える主役としての認識を持ち、その果たすべき役割を明確にしなが、生きがいと働きがいを見いだすことができる、豊かで住みよいまちの実現のために協働して取り組むことが求められています。



## 中小企業がつくる地域の輪 つながりが価値を生み出し、ともに成長する町



## ふるさと住民として三木町に携わってくださる皆様へ

皆様も、この輪をつなぐ関係者のおひとりです。これからも三木町を知っていただき、三木町と関わり続けていただくことで、よりよい町へと発展していく礎のひとつとなることを考えております。今後も三木町とつながるひとりとして、取り組みにご理解とご協力をお願いします。



## 焼きたての香りと地域の笑顔 ミキパン中野さんご夫婦インタビュー

三木町池戸（いけのべ）にある青い屋根の人気のパン屋さん「avenir amuser（通称：ミキパン）」。中野さんご夫婦が2人で営むこちらのお店は令和6年2月にオープンし、開店以来連日大人気のパン屋さんです。ご夫婦2人ですべてのパンを手作りし、ハード系のパンを中心に常時約60種類のパンを販売しています。売り切れ次第閉店となるため、土曜日は開店前から行列ができるほど。お二人ともご出身は香川県ですが、結婚を機に香川県を離れ、10年近く県外で過ごされたのち、香川県へUターン移住。夢であるパン屋さんをスタートされ、令和8年2月に開店2周年を迎えられたご夫妻に、お話を伺いました。



### ■ミキパンについて

#### －まず、お店について教えてください。－

**ご主人：**開店は朝8時30分で、パンが売り切れたら閉店です。平日は14時頃、土曜日は13時頃には売り切れることが多いですね。土曜日は開店前から並んでくださる方もいます。パン作りは夫婦で担当していて、販売はスタッフに手伝ってもらっています。朝一番で約60種類、1日を通して70種類以上のパンをご用意しています。当初は1日400個くらい売れたらいいなと思っていたんですが、ありがたいことに売り切れる日が多くて。今は平日で800個、土曜日は1,200個ほど焼いています。地元のテレビ番組で紹介された後は、平日でも1,000個近く売れる日があります。

#### －人気のパンやこだわりポイントはありますか？－

**ご主人：**人気商品は明太子フランスや、4種類あるソーセージを使ったパン、総菜系のパンなどですね。また、開店してからもパンはどんどん焼き上げており、焼きたてを随時店頭には並べています。

**奥さま：**どのパンも「自信作」として、自信を持って提供しています。ご来店いただくタイミングによって並んでいるパンが変わるので、パンとの出会いを楽しんでいただけたら嬉しいです。

#### －パン職人になったきっかけや、開業までの経緯を教えてください。－

**ご主人：**私は高松市出身で、20歳からパン職人となり、気づけば19年になります。主に県外で働いていましたが、いつかは香川県で独立したいと思っていて、いろいろ物件を見た中で池戸のこの建物に決めました。建物は一度骨組みまで解体してリノベーションしました。今の店舗の入口あたり、実は昔はお風呂だったんですよ（笑）。以前の職場では朝5時から仕込みでしたが、今は作る量が多いので午前1時30分には店に来て仕込みを始めています。

#### －実際にパン屋を始めてみていかがですか？－

**奥さま：**私は三木町出身で、カフェなど接客の仕事はしていましたが、パン屋は初めてでした。始めてみて「こんなに大変なんだ」と思いましたね（笑）。でも地域のお客さんが来てくださるので、とてもやりがいを感じています。



## 【イベントレポート】三木町ふるさと住民票体験ツアー



## ◆ 体験場所

- ・井戸公民館(交流会・おとやずし)
- ・IDOMALL ・匠製作所 ・三原飴店

## ◆ 参加者 9人

## ◆ 受託者 琴平バス株式会社

## バスで巡る三木町の手仕事が見えるスポット見学

2026.2/21[SAT]

ふるさと住民票のイベントの中で、三木町にある観光地や施設を紹介し、その地域を知り楽しんでもらい、ふるさと住民の皆様の交流も深めていただく体験ツアーを開催しています。

今回も県内外から三木町に直接お越しいただき、三木町の魅力を体験してもらう体験バスツアーが開催されました!

当日は曇りつつない快晴のもと、参加者は朝各地でバスに乗り、最初の目的地である井戸公民館へ。ここでは交流会として「三木町の新たなキャッチフレーズを考えよう!」をテーマにしたグループワークを行いました。三木町にゆかりのある方や興味を持って参加して下さった方々がグループに分かれ、「自然が近くて暮らしやすい」「人のあたたかさが魅力」「都会にも近い“ちょうどいい田舎”」など、三木町の魅力や印象について自由に意見交換。最後には、それぞれのグループが考えたキャッチフレーズを発表し、笑い声と拍手に包まれる楽しい時間となりました。

交流会のあとは、地元神社の夏の神事で振る舞われてきた伝統料理「おとやずし」づくりに挑戦しました。地域のお母さんたちに教えてもらいながら、具材を並べて押し固めていく作業に参加者も興味津々。完成したおとやずしをみんなで味わう昼食の時間には、「初めて食べたけどおいしい」「素材でやさしい味」「自分で作るとさらに格別」といった声も聞かれ、和やかなひとときとなりました。

午後は、井戸地区にある地元のこだわり食材や商品を取り扱うモール「IDO MALL」を訪問。新鮮な野菜やシェフの作るお惣菜、お菓子、雑貨などを見て回り、思い思いに買い物を楽しみました。途中で三木町の散歩スポット、太古の森にも寄り道し、嶽山と山大寺池をチェック。

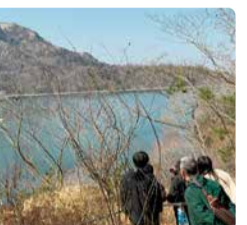
続いて訪れた鹿庭地区の匠製作所では、代表の鈴木さんに製作所の歴史やものづくりへの思いを伺いながら、端材を使ったワークショップで一輪挿しとお香立てを作りました。機械を使った集中力が必要な作業もあり、木の香りのする工場で完成した作品に皆大満足。ものづくりの現場ならではの空気を感じながら、普段なかなか触れる機会のない伝統技術やものづくりの面白さを感じる時間となりました。

ツアーの最後は、江戸時代から続く三原飴店を見学。砂糖を使わず、麦芽ともち米、水だけで作る「ぎょうせん飴」の製造工程を間近で見せていただき、その歴史の深さや手間のかかる製法に参加者から驚きの声が上がりました。自然のやさしい甘さの水飴を味わいながら、三木町に受け継がれてきた食文化の奥深さを実感しました。

三木町の食や伝統、そして人のあたたかさに触れながら、町の魅力を再発見する一日となりました。

## 「おとやずし」ってなんだ!?

参加者からも質問が上がっていた、当日の昼食「おとやずし」。当日作り方を教えてくださった地元のお母さん山崎さんに伺ったところ、地元神社の夏の神事で振る舞われてきた伝統的な押し寿司とのこと。祭りで当番になった家が担当して作っていたので、**お当家…おとうや…おとや!**昔は地域の世帯数も多く、30年に1度程度当番が回ってきていたそうですが、時代の流れとともにおとやずしを作ることもなくなっていたところ、数年前に「そういえば型が1つだけ残っているね」という話から、令和の時代にこっそり復活!現存する型枠は1つだけなので、とても貴重。



- ・おとやずしのすし酢、調味、満足!味噌汁も美味しかった。
- ・地元のお母さんの歴史ある食文化背景のお話や、体験のおかげでとても楽しい食事になりました。
- ・仏壇の利用や端木材から作品を作るのは面白い。匠の技!
- ・ぎょうせん飴というものがあることを初めて知り、手仕事の素晴らしさを感じさせていただきました。
- ・懐かしい味で、試食の飴の甘さに感激!
- ・皆で和気あいあいと楽しい時間を過ごせた。暖かい感じの町でした。

皆様のご参加、ありがとうございました!!

参加者が感じた  
三木町の  
魅力

# いっしー通信 ～地域おこし協力隊の三木町活動代り～



地域おこし協力隊のいっしーです。三木町での生活も2年目に入り、町のみなさんの温かさに支えられながら、日々元気に奔走しています！今回は、私が参加した様々な活動について、たっぷりご報告します。

石山直樹(いしやま なおき)さん

東京都出身で、令和7年2月三木町に着任、三木町観光協会に所属。

【三木町地域おこし協力隊 公式 Instagram】 @miki\_kagawa\_chiikiokoshi  
[https://www.instagram.com/miki\\_kagawa\\_chiikiokoshi/](https://www.instagram.com/miki_kagawa_chiikiokoshi/)



## 地域に教わる「三木の食文化」体験

三木町の伝統や文化を深く知るため、また地域のなかで「気づき」「学び」を体験できるように、さまざまな食のワークショップを実施しました！

### 味噌づくり

三木町産の大豆を使い、時間をかけて仕込む味噌づくり。発酵という自然の力と、それを守り続ける地域の知恵に触れる貴重な機会となりました。事前に仕込んでおいた味噌をつかって、プロの料理人に美味しい味噌汁と味噌おにぎりを食べ交流を深めました。



### おもちつき体験

杵と臼を使った昔ながらのおもちつきに挑戦。地域の方々と協力して、とても美味しいお餅ができあがりました。また、つきたてのお餅をつかって香川県郷土料理のあん餅雑煮をつくりました。お雑煮にあん餅？と、はじめは不安でしたが食べてみると、びっくり！とても美味しくいただきました。



### 打ち込みうどんづくり

香川の冬の定番。自分たちで麺を打ち、季節の野菜と一緒に煮込みました。地域の方々につくり方を教わり、また昔と今の食についての違いなどを教えていただき、まさに「ほどよい田舎」の豊かさを象徴するひとときでした。



## 町の魅力を外へ！

三木町の魅力を町外の方にも知ってもらうため、対外イベントへ参加しました。

### さめきマルシェ

高松市のイベント会場で三木町産の「さめきひめ」「女峰」という2品種の採れたていちごを販売！その場で食べ比べもできる少量カップも販売し、多くのお客様から「美味しい」というお声をいただきました。合わせて、三木町は「いちごの町」ということをPRしてきました！



### 移住交流&地域おこし協力隊フェア

東京で開催されたフェアに参加し、東京から移住した私がリアルな声をお届けし、町の魅力をPRしてきました。また、現在行っている地域おこし協力隊の活動内容もお話し、私と共に三木町を盛り上げてくれる仲間が集まってくれば良いなと思っています。



## 東讃エリアの仲間との連携

### 地域おこし協力隊 交流会

東讃エリア(三木町・さめき市・東かがわ市)の協力隊が集まりました。近隣自治体の仲間と情報交換を行う中で、客観的に見た三木町の強みを再確認。広域で連携することで、より大きな発信力に繋げていくヒントをたくさん得ることができました。





## 三木町が、街の幸福度&住みたい街ランキング2025〈四国版〉で1位になりました!!

三木町が、大東建託株式会社が実施する「街の幸福度&住みたい街ランキング2025〈四国版〉」において、「住みたい街ランキング」第1位に輝きました!2024年に続き、2年連続での受賞です。

さらに、「街の幸福度&住みたい街ランキング2025〈香川版〉」では、「街の幸福度ランキング」でも第1位を獲得し、「住みたい街ランキング」第1位とあわせて【ダブル受賞】となりました!

アンケートにご回答いただいた住民の皆さまからは、子育てのしやすさや、生活に必要な施設が身近にそろっている便利さ、災害リスクの低さなどが高く評価されました。

そのほかにも、「街に誇りがあるランキング」第2位、「愛着があるランキング」第2位、「街の住みこちランキング」第3位と、さまざまな部門で上位にランクインしています。

たくさんの方に「いいまちだね」と思っただけています三木町。これからも、皆さまとの繋がりを大切に、愛されるまちづくりを続けていきます。ふるさと住民の皆さまにも、三木町を身近に感じていただけていますと幸いです。これからも三木町をどうぞよろしくお願いいたします!



〈詳しくはこちら↓〉

街の幸福度&住みたい街ランキング 2025



〈四国版〉



〈香川県版〉

〈出典〉「いい部屋ネット 街の幸福度&住みたい街ランキング2025〈四国版〉」  
「いい部屋ネット 街の幸福度&住みたい街ランキング2025〈香川県版〉」

4月1日(水)からKIT\*MIKI WEBサイトにて応募開始 (応募期間:2026年4月1日(水)9時~2026年5月31日(日)21時)

## 三木の「ええもん」もらえるキャンペーン



第19弾

年2回

抽選5組



アートスペースにしくみの

『マグカップ Loci ロキ(1個)』をプレゼント!

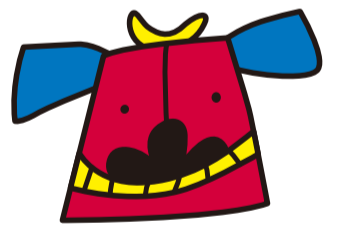
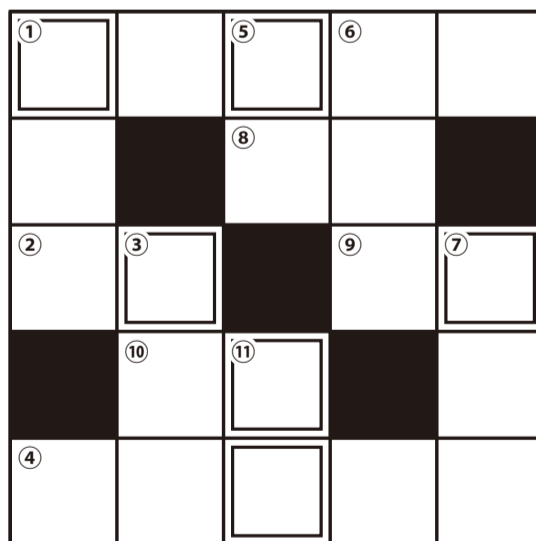
第19弾(2026年度春分)は、本紙2026年冬号で紹介したアートスペースにしくみの『マグカップ Loci ロキ』をご用意しました。令和6年度香川県産品コンクールで知事賞(最優秀賞)を受賞した「せとうち讃岐・大地のうつわ Loci ロキ~Ajiシリーズ~」のマグカップです。石粉の粉末を半分以上配合し、つるりとした手触りと讃岐の自然や大地をイメージしたやさしい色合いが魅力の一品。7色のカラーバリエーションの中から、マグカップを1個プレゼントいたします。どの色が届くのかは、届いてからのお楽しみ。ぜひ毎日のコーヒーやお茶の時間にお使いください!

※色はお選びいただけませんので、あらかじめご了承ください。

アートスペースにしくみについて詳しくはこちら  
<https://www.art-space-2493.com/>



KIT\*MIKIサイト内のエントリーフォームにパズルの答えをご入力・ご応募ください。



エントリーフォームはこちら

こちらのQRコードからご覧いただけます。  
<https://www.town.miki.lg.jp/kit-miki/form2/>

(はがきでの応募) 下記住所宛に、お名前・ご住所・電話番号・パズルの答えを明記の上ご応募ください。



を並び替えてできる言葉はなんでしょう?

ヒント:三木町の散策スポットです。



【タテのカギ】

- ①天ぶらの外側につくもの。
- ②豆腐の種類の一つ。〇〇豆腐。
- ③木を切る道具。〇〇ぎり。
- ④消火用の貯水設備。〇〇水槽。
- ⑤入り江が複雑に入り組んだ海岸地形。〇〇式海岸。
- ⑥床や壁などに使われる平たい木材。

【ヨコのカギ】

- ①五月の空を元気に泳ぐ。
- ②缶詰でもおなじみのフルーツ。英語で「ピーチ」。
- ④さそり座の一等星。赤く輝く。
- ⑧三木町小養地区にある滝。〇〇の滝。
- ⑨山や野で動物を捕まえること。
- ⑩となりのトトロに出てくる妹の名前。